

情報公開準備作業を行う「特別支援チーム」の立ち上げ

(注) OST: オフィス・サポート・チーム

◀ 職員の状況 ▶

多くの情報開示請求に真摯に対応する中、その作業が若手をはじめとする職員にとって、深夜残業や休日出勤含め**重い負担**となっているケースも多い。

何とか
したい!



効率的に作業できるよう、「特別支援チーム」を立ち上げ、準備作業の対応を開始 (令和5年4月から)

【支援内容】

- 開示請求対応においては、**審査に先立つ準備作業** (①対象文書や前例の探索、②決裁や省内外との合議のための文書スキャン、コピー、ファイリング、③文書番号の付箋付け、④対象文書リストの作成等) に**かなりの時間を要する、という意見が多かった** (担当官への省内アンケート回答によれば、**作業量の33%に相当**。)
- こうした声を受け、これまで主管課室が行ってきた**準備作業を、特別支援チームが専門的に対応**。
- これまでに200冊以上の分厚い文書ファイルについて支援を実施。



～先進的で、発展性のあるユニークな取組～

★多様な職員が、得意分野を活かし、共同で作業を行う働き方を実現。

⇒外務省の文書を熟知し豊富な経験から文書の特定を迅速に行える再任用職員を含む**ベテラン職員**と、対象文書のコピー等の膨大で細かな作業を正確・丁寧・迅速に行う「**オフィス・サポート・チーム**」(OST: 障がいを持つ職員で構成されたチーム)がタッグを組んで、「特別支援チーム」として、主管課室の「**情報公開担当官**」を支援。

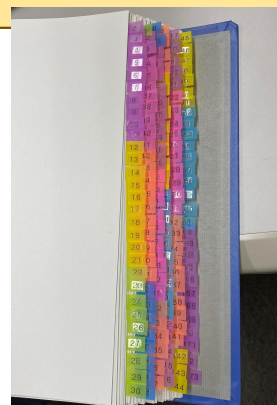
★導入により、各課室の作業負担は大幅に削減 (対応される準備作業は作業量全体の**33%**に相当*)。

*省内アンケート回答による。

⇒主管課室担当官は**審査により集中**することが可能に。

⇒外務省内の様々な働き方改革の中でも**最優秀の取組**に選出。

こんな形に
仕上がり
ます! ⇒



主管課室担当官からの声

「特別支援チーム」のおかげで、膨大な事前準備作業から解放され、「開示・不開示の判断」という**審査業務により集中**できるようになりました!

